

各 位

代表者名 代表取締役社長 徳倉 克己

(コード:1892、名証メイン市場)

問合せ先 取締役経営管理本部長 郡司 哲夫

(TEL. 052 - 961 - 3271)

2026年3月期第2四半期(中間期)業績予想値と実績値との差異に関するお知らせ

2025年5月13日に公表いたしました2026年3月期第2四半期(中間期)の業績予想と本日公表の実績において差異が発生いたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 2026年3月期第2四半期(中間期)業績予想値と実績値との差異(2025年4月1日~2025年9月30日)(1)連結 単位:百万円

j j		売 上 高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属	1株当たり
					する四半期純利益	四半期純利益
前回発表予想	(A)	34,000	600	600	400	193 円 09 銭
実 績 値 (В)	31, 918	1, 149	1, 237	852	410円39銭
増減額(B	– A)	△2, 081	549	637	452	
増 減 率(%)	△6.1	91. 6	106. 3	113. 2	
(ご参考)前期第2四半期実績 (2025年3月期 第2四半期)		34, 090	477	487	418	202 円 22 銭

(2) 個別 単位:百万円

	売 上 高	経常利益	四 半 期 純 利 益	1 株当たり 四半期純利益
前回発表予想(A)	19, 000	200	150	72 円 41 銭
実 績 値 (B)	18, 658	501	390	187 円 73 銭
増 減 額 (B - A)	△341	301	240	
増 減 率 (%)	△1.8	150. 7	160. 1	
(ご参考)前期第2四半期実績 (2025年3月期 第2四半期)	20, 742	629	546	263 円 93 銭

3. 差異の理由

(連結)

当第2四半期連結累計期間の売上高は、連結子会社の工事の着工遅れや工期延伸などにより、当初予想に比べ2,081 百万円減少し、31,918 百万円となりました。一方、利益面では、当社及び連結子会社の工事利益率の改善により、営業利益は、当初予想の600 百万に対し549 百万増加し、1,149 百万円となりました。経常利益は637 百万円増加の1,237 百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益は452 百万増加の852 百万円となりました。

(個別)

当第2四半期の売上高は当初予想を概ね達成いたしましたが、繰越工事における工事利益率の改善により、利益は増加いたしました。経常利益につきましては、当初予想の200百万に対し301百万増加し、501百万円となり、四半期純利益は240百万増加し、390百万円となりました。

なお、通期の業績予想につきましては、現時点では前回発表の予想値に変更はありません。今後、業績予想の修正が必要であると見込まれた場合には、速やかに公表いたします。

以上